

カ タ リ ナ

学報

第37号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2016. 12. 1



IUBILEUM 800 1216-2016
ORDO PRÆDICATORUM

ドミニコ会創立800年記念によせて —信仰の闘士・聖ドミニコ—

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



1170年スペイン・カレルエガに生まれたドミニコは、説教者兄弟会を創立し、教会より信仰の闘士と呼ばれるようになった。彼は当時のカトリック教会が異端の謬説と社会的混乱に動揺した原因を次の3つにあると判断していた。それは、1. 宣教に従事する者の福音的諸徳に基礎を置く観想的精神の欠如、2. 神教的諸真理に関する深い学識の貧困、3. 教会を擁護する権威ある現実的な説教の欠乏にあった。従って、説教と人々の救霊のために創立された修道会が800年の歴史を越えて存続し得たのは、ドミニコが当時から必要な認識と明確なヴィジョンのもとに将来展開されるべき構想をすでに信仰のうちに確信していたことによると思う。

彼が目指す説教とは、本来司教の使徒伝来の固有の職務とされており、一修道会に恒久的に委任することは、司教の権限を侵すことになるという考えから、ドミニコがその説教職を永久に全世界に自由に行使する使徒の特典を請願することは当時無謀なことと考えられていた。実際、ラテラノ公会議(1215)では、今後新修道会の設立不認可を決定していたという事実からみて、ドミニコによる新修道会のための申請は困難であると思われていた。

ところが、神の摂理によって、既存の修道会戒律から一つを選ぶことを条件として新修道会の認可

が可能であることが指示されたことにより、ドミニコは直ちに兄弟達と諮り、聖アウグステイヌ修道会の戒律を選ぶことに決定した。その戒律には観想と同時に、ドミニコ会固有の勉学と説教を許容する柔軟性があると判断したからである。

1216年12月22日ローマ教皇ホノリウス三世は、勅書を持って荘厳にドミニコの修道会を認可し、さらに翌年1217年1月11日には先の勅書の要約として、ドミニコとその兄弟達が諸所に赴く際の証明書ともいべき次のような第2の勅書が交付された。そこには、「御身らの修道会の兄弟達が、信仰の闘士、世の真の光とならんことを確信する」と明記されていた。その時から、ドミニコとその兄弟達は信仰の闘士としての使命を公に教会から賦与されることとなった。

この信仰の闘士という呼称は、後に中世イタリア文学を代表するダンテ(1265-1321)がその「神曲」の中でラテン語ではなく、トスカナ語で聖ドミニコの聖性をいみじくも次のように描写している。

「やがて、キリスト教信仰の愛すべき寵児が生まれた。かれは神聖な闘士、うちにはやさしく、敵に対しては厳しい者であった……彼はキリストがご自分の庭で、ご自身の協力者として選ばれた働き手であるといわれている。彼はキリストに固く結ばれた

使者であり、友のようであった。彼が示した愛は、キリストが最初に与えた勧告に従うものであった。それから、賢実な教義（ドグマ）と魂の救済という善意を持って、高くそびえ立つ岩脈から勢いよくほとばしり出る激流のように、彼は自己の偉大な使徒の道へと邁進した。そして、途中をせき止める異端の中に身を投じ、遠く、広くあふれ出て、小川となり教会の庭に入りそれを潤したのである。」（天国篇12）

ドミニコが信仰の闘士と呼ばれるのは、当時フランスのファンジョーやブルイユのような最も過激な異端と偏見に満ちた地で約10年間にわたり、全くの孤独と貧しさの中で神と人々への愛の献身によって、使徒の証しとして十分であった。彼は深い洞察力を持って、今や生まれつつある新しい秩序と其中で、キリスト教の将来は健全な神学的知識に基づく説教が不可欠であることを悟っていた。彼の魂は、使徒的生活に対するきわめて高貴な理想、すなわち初代教会の使徒たちのように真にキリストに従う者となることを考えていた。

その時から歴史を越えて彼の始めた修道会は、同一の会憲のもと、いかなる内部分裂もなく、観想と活動の見事な融合によって、教会の擁護者として神学と説教を修道会の独自の霊性として確立してきたのである。聖カタリナ学園の母体である聖ドミニコ宣教修道女会も、その起源から聖ドミニコを父と仰ぐ同じ修道家族に属している。

21世紀の教皇フランシスコは、教皇庁教育省総会でのメッセージの中で、カトリック教育者は多文化の共存が進む社会との対話に努め、福音をより広く伝える必要があると語った。すなわち、初代教会においてキリストの弟子達が直面したギリシャ・アテネという異文化の「アレオパゴスの世界」（パウロが異文化の中にあって対話を試みた丘）は、まさに異教の権力が支配する国で、復活したキリストのメッセージを伝えるためにあらゆる苦難と迫害を受けて対話することを学んだ地である。ドミニコもその会憲の基本憲章に謳っているように、その原点から新しい価値へと変革する時代を展望していた。

現代に生きる者はその時代を刷新・適応した仕方で、あらゆる価値観の中で真理の光を見て生きることを学ばねばならない。カトリック教育機関は自ら

の世界を他から隔別するべきではなく、現代のアレオパゴスに入って行き、すべての人に差し出すべき神からの恩恵、神の慈しみと憐れみを意識しつつ、対話に取り組まなければならないのである。

聖カタリナ学園の保護者であるカタリナは、神との対話の中でドミニコが神から選ばれた者であることを記している。「あなたの父であり、わたしの子であるドミニコは、自分の兄弟が知識の光を持って、わたしの誉れと人々の救いのために働くようにわたしが選んだ。それは、当時、はびこっていた誤謬を根絶するために、わたしは彼をその光とし修道会の目標とした。彼の使命はわたしのひとり子のそれであった。」（「対話」153）

ドミニコは1221年8月6日、51歳の生涯を終える時、兄弟達にむかって「わたしはこの世にいたよりも、死後あなた達のために益ある者となるだろう。」と約束した。恐らくアレオパゴスの現代社会の中で歩み惑うわたしたちのために、父としての約束を果たしてくれると希望している。かつてドミニコが異端と戦う時、彼の用いた理論は、神学と世の諸学に精通し、弁証法的能力をもつように訓練された兄弟達を必要ところに派遣して教会を擁護し、思想の異なる者との対話に開かれていたことから大いに学ぶべきことがある。ドミニコ会は学問上の使命を帯びて教会より認可された最初の修道会であったことを思う時、本学も信仰の闘士であったドミニコの霊的遺産を継承する者として、現代における信仰と対話への大いなる挑戦に対して、賢明かつ謙虚にその道を辿りたいと思う。



教皇ホノリウス三世より認可を受ける
聖ドミニコ。

●保育学科リカレントセミナー

8月18日(木)に第17回聖カタリナ大学短期大学部保育学科公開講座「リカレントセミナー」が開催されました。午前と午後それぞれ2つの選択講座があり、卒業生を含むたくさんの方が参加され、職業上の新たな知識・技術等を学びました。

この公開講座は、幼稚園・保育所・施設等に勤務されている方を対象に、毎年開催しており、社会で活躍されている方の学びたい気持ちを応援しています。

●聖カタリナ大学『看護学科の新設』(平成29年4月)が決定

平成28年8月31日(水)付で文部科学大臣から設置認可を受け、平成29年4月1日に聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科を設置することが正式に決定しました。

伊予鉄道松山市駅に隣接した「聖カタリナ大学松山市駅キャンパス(松山市永代町)」を新設。



●2016年度愛媛銀行寄付講座・聖カタリナ大学「風早の塾」の第2部開始

2013年度より愛媛銀行のご支援を受けて、学生に加えて市民の方々も一緒に聴講できる公開講座「風早の塾」(全15回:平成28年5月13日(金)～平成29年1月27日(金))が開講されている。

今年度はメインテーマを「超高齢社会にいきる」と掲げ、第1部では健やかに穏やかに生活を続けるための生きがい・健康づくり、第2部では超高齢社会の中で、どう心理的・身体的に備えていけばよいのかについて考える講座として開講しております。

第2部の初回講座にあたる10月14日(金)には埼玉県より川合武司氏(武蔵丘短期大学学長)を講師として招聘し、第2部の幕開けを飾りました。



●2016年度大学祭

2016年度大学祭「一風変わったおもてなし〜Trick or Treat〜」が、10月28日(金)から30日(日)にかけて開催されました。

大学祭では、学内ミサ、パイプオルガン演奏会、多数の模擬店の出店があり、様々な物品や食品等が販売され、地域の方や卒業生などたくさんの方にご来場いただきました。

今年度はハロウィンをテーマとした大学祭であったため、学生が様々な仮装で来場者をお迎えし、ハロウィンの雰囲気を楽しんでいただきました。

ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。



●まつやまシニアカレッジ

聖カタリナ大学と松山市社会福祉協議会の共同企画プロジェクトとして「まつやまシニアカレッジ」を開講しました。

この講座は、大学での講義や学生生活に興味のある高齢者の方々を対象に、健康福祉社会づくりを目的として開催しており、より豊かな知識の習得のため、幅広いカリキュラムで、本学の各教職員がそれぞれの専門領域からテーマを掲げ、計10回の講義を行いました。

◆◆ 平成 28 年度前期行事 (H28.4.1 ~ H28.9.30) ◆◆

| 月 | 日 | 曜 | 区 | 行 事 |
|---|----|---|---|------------------------------|
| 4 | 1 | 金 | | 新任教職員研修、学生生活委員会 |
| | | | 大 | 教授会、選考教授会 |
| | | | 短 | 教授会、人事教授会 |
| | 3 | 日 | | 入学式、国際交流委員会、前期履修ガイダンス |
| | 4 | 月 | | オリエンテーション(～4 / 5) |
| | | | 大 | 健康スポーツ学科会議 |
| | | | 短 | 保育学科会議 |
| | 5 | 火 | 大 | 健康スポーツ学科会議 |
| | 6 | 水 | | 会計監査(～4 / 8) |
| | | | 大 | 教職課程委員会 |
| | 8 | 金 | | 就職委員会、入試・募集委員会 |
| | 11 | 月 | | 課長会議 |
| | 13 | 水 | 大 | 社会福祉実習委員会 |
| | 15 | 金 | 大 | カタリナキャンプ(～4 / 16) |
| | 16 | 土 | 短 | カタリナキャンプ |
| | 20 | 水 | | 国際交流委員会、ボランティアセンター運営委員会 |
| | | | 大 | 社会福祉学科会議 |
| | 21 | 木 | | 図書館委員会 |
| | 22 | 金 | | キリスト教研究所所員会議、教職員健康診断、留学生歓迎会 |
| | | | 大 | 教授会 |
| | 25 | 月 | | ボランティアセンター運営委員会、開学記念論文集編集委員会 |
| 5 | 27 | 水 | | F D 委員会 |
| | 29 | 金 | | 学園創立記念日 |
| | 6 | 金 | | 学生相談室運営会議 |
| | | | 大 | 健康スポーツ学科会議、人間社会学科会議 |
| | | | 短 | 教授会 |
| | 9 | 月 | | 会計監査(～5 / 10) |
| | 12 | 木 | 大 | 学生生活委員会 |
| | 13 | 金 | 大 | 教授会、寄付講座①「風早の塾」、まつやまシニアカレッジ |
| | | | 短 | 保育学科会議 |
| | 16 | 月 | 大 | 教務委員会大学部会 |
| | 18 | 水 | | 母をたたえる日、福祉就職説明会 |
| | | | 大 | 社会福祉学科会議 |
| | 19 | 木 | | 入試・募集委員会(募集部会) |
| | 20 | 金 | 大 | 寄付講座②「風早の塾」 |
| | | | 短 | 保育学科会議 |

| 月 | 日 | 曜 | 区 | 行 事 |
|---|----|---|---|--------------------------------|
| 5 | 23 | 月 | | 大学説明会(宇和島会場) |
| | 24 | 火 | | 大学説明会(八幡浜会場) |
| | 25 | 水 | | 大学説明会(新居浜会場)、人間文化研究所所員会 |
| | 26 | 木 | | 大学説明会(中村会場) |
| | 27 | 金 | | 大学説明会(本学) |
| | | | 大 | 寄付講座③「風早の塾」、まつやまシニアカレッジ |
| | 28 | 土 | | 評議員会・理事会 |
| | 30 | 月 | | 大学説明会(高知会場) |
| | | | 大 | 教育実習 [社 4] (～6 / 10) |
| | | | 短 | 幼稚園教育実習 [保 2] (～6 / 10) |
| 6 | 1 | 水 | | 教学マネジメント会議 |
| | 3 | 金 | | 大学説明会(香川会場)、クラブ活動協議会 |
| | | | 大 | 健康スポーツ学科会議 |
| | | | 短 | 教授会 |
| | 6 | 月 | | ボランティアセンター運営委員会、バイオルガン演奏会実行委員会 |
| | 9 | 木 | | 大学訪問(北条高校) |
| | 10 | 金 | 大 | 教授会、寄付講座④「風早の塾」、まつやまシニアカレッジ |
| | | | 短 | 保育学科会議 |
| | 12 | 日 | | 後援会役員会 |
| | 14 | 火 | | 財務委員会、大学訪問(聖カタリナ学園高校) |
| | 15 | 水 | | 将来計画委員会 |
| | 17 | 金 | | 広報委員会 |
| | 19 | 日 | | オープンキャンパス① |
| | 20 | 月 | | 開学記念論文集編集委員会、課長会議 |
| | 24 | 金 | | 四国インカレ(～6 / 26) |
| | | | 大 | まつやまシニアカレッジ |
| | | | 短 | 教務委員会短期大学部会 |
| | 25 | 土 | | 評議員会・理事会、福祉就職相談会 |
| | 26 | 日 | 大 | 寄付講座⑤「風早の塾」 |
| | 29 | 水 | | S D 委員会 |
| | 30 | 木 | 大 | 看護学科設置準備室事務部門担当者会議 |
| 7 | 1 | 金 | 大 | 健康スポーツ学科会議、学生生活委員会 |
| | | | 短 | 教授会 |
| | 2 | 土 | | 四国インカレ(～7 / 3) |
| | 3 | 日 | | おでかけキャンパス in エミフルMASAKI |
| | 4 | 月 | | 開学記念論文集編集委員会 |

| 月 | 日 | 曜 | 区 | 行 事 |
|---|----|---|---|---|
| 7 | 8 | 金 | | 四国インカレ(～7/10) |
| | | | 大 | 教授会、寄付講座⑥「風早の塾」、まつやまシニアカレッジ |
| | | | 短 | 保育学科会議 |
| | 11 | 月 | | 開学記念論文集編集委員会、ボランティアウィーク(～7/15) |
| | | | 短 | 保育実習Ⅱ(～7/23)・Ⅲ【保2】(～7/25) |
| | 12 | 火 | | G P A 制度導入準備委員会、サルーテ運営委員会 |
| | | | 大 | 教職課程委員会 |
| | 13 | 水 | | S D 委員会 |
| | 14 | 木 | 大 | 看護学科関係会議(学生生活) |
| | 15 | 金 | | 入試・募集委員会 |
| | | | 大 | 大学評価委員会 |
| | 16 | 土 | | ボランティアウィーク一般公開日 |
| | 19 | 火 | | 図書館委員会 |
| | 20 | 水 | | 留学生との懇談会 |
| | 21 | 木 | | 大学祭中間報告会 |
| | 22 | 金 | 大 | 寄付講座⑦「風早の塾」、まつやまシニアカレッジ |
| | 24 | 日 | | オープンキャンパス② |
| | 25 | 月 | | パイプオルガン演奏会実行委員会 |
| | 26 | 火 | | S D 委員会 |
| | 27 | 水 | 大 | 看護学科関係会議(学生生活) |
| | 29 | 金 | | 入試・募集委員会(募集部会、入試制度部会)、理事会、大学30周年・短大50周年事業プロジェクト会議 |
| | 30 | 土 | 大 | 国試対策全国模試 |
| 8 | 1 | 月 | | 開学記念論文集編集委員会 |
| | 2 | 火 | | 財務委員会 |
| | 3 | 水 | | 夏季休業(～9/20)、学生生活委員会、教学マネジメント会議 |
| | | | 大 | 人事委員会 |
| | 5 | 金 | | G P A 制度導入準備委員会、将来計画委員会 |

| 月 | 日 | 曜 | 区 | 行 事 |
|---|----|---|---|---|
| 8 | 5 | 金 | 大 | 教授会、選考教授会、健康スポーツ学科会議 |
| | | | 短 | 教授会、人事教授会 |
| | 8 | 月 | | 聖ドミニコの日 |
| | | | 大 | 社会福祉援助技術現場実習[社3、介4、編4](～9/8)、介護福祉実習[介2](～9/2)、精神保健福祉現場実習[社4](～8/31) |
| | 9 | 火 | 大 | 社会福祉学科会議 |
| | 10 | 水 | | S D 委員会 |
| | 11 | 木 | 大 | 介護福祉実習[介3](～9/7) |
| | 18 | 木 | 短 | 保育学科公開講座リカレントセミナー |
| | 20 | 土 | | オープンキャンパス③ |
| | 25 | 木 | 短 | 入試・募集委員会部会 |
| | 26 | 金 | | 日本カトリック大学連盟職員セミナー第2回運営委員会、奨学制度運営委員会 |
| | 30 | 火 | | 事務職員研修、課長会議 |
| 9 | 13 | 火 | | 財務状況等説明会 |
| | | | 大 | 大学評価委員会 |
| | 14 | 水 | | 奨学制度運営委員会 |
| | 15 | 木 | | 日本カトリック大学連盟職員セミナー(～9/17) |
| | 20 | 火 | | F D 学内研修 |
| | | | 大 | 健康スポーツ学科会議 |
| | | | 短 | 保育学科会議 |
| | 21 | 水 | | 後学期履修ガイダンス |
| | | | 大 | 社会福祉学科会議、社会福祉実習委員会 |
| | 23 | 金 | | 理事会 |
| | 25 | 日 | | オープンキャンパス④、前期末卒業証書授与式 |
| | 30 | 金 | | 人間文化研究所フォーラム、まつやまシニアカレッジ、開学記念論文集編集委員会、課長会議 |
| | | | 大 | 教授会 |

◆◇ 人 事 ◇◇

《平成28年5月6日付け》

【退職】

入試課

事務職員 黒河 佐弥子

《平成28年6月1日付け》

【新規採用】

入試課

事務職員(非) 早田 健

《平成28年9月1日付け》

【新規採用】

会計課

課長補佐 川田 武

《平成28年9月1日付け》

【配置換】

教務課

課長補佐 渡部 真由美
(併任：会計課 課長補佐)

◆◆ 平成 28 年度教授会議題（前期）◆◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H28. 4. 1 第1回

1. 平成29年度聖カタリナ大学入試概要について
2. 退学について
3. 休学について
4. 除籍について
5. 聴講生の受け入れについて

H28. 4. 22 第2回

1. 平成29年度看護学科入試概要(案)について

H28. 5. 13 第3回

1. 退学について
2. 復学について
3. 復籍について

H28. 6. 10 第4回

1. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部における公的研究費の運営及び管理に関する規程の一部改正について
2. 科目等履修生(外国人留学生)の受け入れについて

H28. 7. 8 第5回

1. 新学科設置にかかる平成29年度大学行事の開催方法について

H28. 8. 5 第6回

1. 学則の一部改正について
2. 退学について
3. 休学について
4. 前学期末卒業予定者について
5. 授業科目の開設について

H28. 9. 30 第7回

1. 前期末卒業者について
2. 退学について
3. 復学について
4. 除籍について
5. 聴講生の受け入れについて
6. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H28. 4. 1 第1回

1. 平成29年度聖カタリナ大学短期大学部入試概要について
2. 退学について
3. 休学について
4. 除籍について
5. 卒業の認定について

H28. 5. 6 第2回

1. 退学について
2. 復籍について

H28. 6. 3 第3回

1. 退学について
2. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部における公的研究費の運営及び管理に関する規程の一部改正について

H28. 7. 1 第4回

1. 学則別表の一部改正について

H28. 8. 5 第5回

1. 前学期末卒業予定者の卒業の認定方法について
2. 退学について

◆◆ 平成 28 年度 クラブ等 活動状況 ◆◆

H28.10.31 現在

体育局(部)

| 団体名 | 期 間 | 大会名・イベント名等 | 開催場所 | 参加人数 | 備 考 |
|------------------|---------|--|------------------------------------|------|---|
| 剣道部 | 4/17 | 第28回 愛媛県女子剣道選手権大会 | 愛媛県武道館 | 8 | 女子：3回戦進出 |
| | 5/22 | 第63回 中四国学生剣道選手権大会 第48回 中四国女子学生剣道選手権大会 | 愛媛県武道館 | 12 | 男子：2回戦進出 女子：ベスト8(福本愛子 全日本女子学生剣道選手権大会出場権獲得) |
| | 5/28・29 | 第61回 西日本学生剣道大会 第31回 西日本女子学生剣道大会 | 福岡市民体育館 | 10 | 女子：出場 |
| | 6/5 | 第31回 香川近県学生剣道大会 | 香川大学 | 9 | 女子：優勝(Aチーム) |
| | 6/26 | 第67回 四国地区大学総合体育大会 | 高知県立武道館 | 7 | 女子：準優勝 |
| | 7/2 | 第50回 全日本女子学生剣道選手権大会 | 日本武道館 | 5 | 出場 |
| | 8/7 | 第19回 愛媛県レディース剣道大会 | 西条市東予体育館 | 6 | 女子：優勝(Aチーム)、3位(Bチーム) |
| | 9/4 | 第63回 中四国学生剣道優勝大会 第43回 中四国女子学生剣道優勝大会 | 岡山市総合文化体育館 | 13 | 男子：出場 女子：3位(菅有紗 優秀選手賞) ※女子団体 全日本女子学生剣道優勝大会出場権獲得 |
| | 9/11 | 第67回 愛媛県剣道大会 | 愛媛県武道館 | 3 | 女子：出場 |
| 硬式テニス部 | 7/8～10 | 第67回 四国地区大学総合体育大会 | 高知市総合運動場テニスコート 県立春野総合運動公園テニスコート | 14 | 男子：2回戦進出 女子：出場 |
| 聖カタリナ大学 サッカー部 | 通年 | 2016年度 愛媛県サッカーリーグ(2部) | 愛媛県内 | — | 4勝(平成28年6月19日現在) |
| | 通年 | 平成28年度 四国大学サッカーリーグ(1部) | 四国内 | — | 5敗3分(平成28年10月15日現在) |
| | 5/7 | 第40回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント四国地区予選 | 徳島市球技場 | 22 | 出場 |
| | 7/2・3 | 第67回 四国地区大学総合体育大会 | 野市ふれあい広場 | 20 | 2回戦進出 |
| 卓球部 | 5/20・21 | 第50回 春季リーグ四国学生卓球選手権大会 兼 全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)予選会 | 松山市総合コミュニティセンター | 6 | 男子(団体：2部優勝、シングルス：出場、ダブルス：出場) |
| | 6/24・25 | 第67回 四国地区大学総合体育大会 | 高知市総合体育館 | 8 | 男子(団体：出場、シングルス：3回戦進出、ダブルス：2回戦進出) |

| 団体名 | 期 間 | 大会名・イベント名等 | 開催場所 | 参加人数 | 備 考 |
|-----------------|----------|--|----------------------------|------|--|
| 卓球部 | 6/25・26 | 第47回 四国学生新人卓球選手権大会 | 高知市総合体育館 | 5 | 男子(団体：出場、シングルス：3回戦進出、ダブルス：3回戦進出) |
| | 8/8～11 | 第51回 全国私立短期大学体育大会 | 開会式：東京体育館 競技場：小金井市総合体育館 | 1 | 男子シングルス：優勝 |
| | 8/25・26 | 第50回秋季リーグ四国学生卓球選手権大会 | 徳島市立体育館 | 6 | 男子(団体：2部準優勝、シングルス：出場、ダブルス：3回戦進出) |
| 男子 バスケットボール部 | 5/14・15 | 平成28年度 全四国大学バスケットボール新人大会 | 四国大学 徳島大学 | 15 | 2回戦進出 |
| | 6/25・26 | 第67回 四国地区大学総合体育大会 | 高知県立春野総合公園体育館 | 13 | 出場 |
| | 10/15・16 | 平成28年度 全日本大学バスケットボール選手権大会四国予選 | 松山大学 愛媛大学 | 15 | 2回戦進出 |
| ダンス部 | 7/17 | ダンス公演(ここ夏 鹿島!! 海びらきフェスタ2016) ダンス公演(ここ夏 鹿島!! 駅前ゆかたまつり) | 鹿島 北条駅前 | 15 | |
| | 8/13 | 松山まつり「野球拳おどり」(団体連の部) | 松山市内 | 76 | 準優勝 |
| | 8/21 | ダンス公演(泰斗福祉会夏祭り) ダンス公演(上辻神社夏祭り) | 障害者支援施設かなさんどう 上辻神社(北条) | 11 | |
| | 10/30 | 大学祭 ステージショー(ダンス) | 聖カタリナ大学 | — | |
| なぎなた部 | 7/10 | 第51回 愛媛県なぎなた選手権大会 | 愛媛県武道館 | 3 | 試合競技：2回戦進出、演技競技：出場 |
| | 8/6・7 | 第55回 全日本学生なぎなた選手権大会 | 津市芸濃町総合文化センター | 1 | 出場 |
| 軟式野球部 | 春季 | 2016年度 四国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦 | 香川県 愛媛県 | — | 準優勝 |
| | 7/8～10 | 第67回 四国地区大学総合体育大会 | 高知市東部総合運動場野球場 | 24 | 雨天のため中止 |
| | 秋季 | 2016年度 四国地区大学軟式野球連盟秋季リーグ戦 | 香川県 | — | 優勝(第33回西日本大学軟式野球選手権大会出場権獲得) |
| バドミントン部 | 7/8～10 | 第67回 四国地区大学総合体育大会 | 高知県立春野総合運動公園 | 14 | 男子(団体：2回戦進出、シングルス：出場、ダブルス：2回戦進出) 女子(団体：出場、シングルス：3回戦進出、ダブルス：3回戦進出) |

体育局(同好会)

| 団体名 | 期 間 | 大会名・イベント名等 | 開催場所 | 参加人数 | 備 考 |
|-------|---------|-------------------|--------------------|------|----------------------------|
| C F C | 7/9・10 | 第67回 四国地区大学総合体育大会 | 高知市総合運動場多目的ドーム | 19 | 2回戦進出 |
| 水泳 | 6/25・26 | 第67回 四国地区大学総合体育大会 | 高知市東部総合運動場くろしおアリーナ | 1 | 女子(200m自由形：準優勝、400m自由形：3位) |

文化局(部)

| 団体名 | 期 間 | 大会名・イベント名等 | 開催場所 | 参加人数 | 備 考 |
|----------|----------|---------------------|----------------------------|------|-----|
| カタリナ部 | 6/17 | 野外ミサ | 聖カタリナ大学 | — | |
| 華道部 | 10/29・30 | 大学祭 展示 | 聖カタリナ大学 | — | |
| 茶道部 | 10/30 | 大学祭 お茶会 | 聖カタリナ大学 | — | |
| 争曲部 | 6/25 | 施設訪問演奏会 | ㈱ケアセンターとかじ デイサービスセンター和楽 | 9 | |
| | 10/30 | 大学祭 お琴生演奏 | 聖カタリナ大学 | — | |
| フォークソング部 | 10/29・30 | 大学祭 ライブ | 聖カタリナ大学 | — | |
| May Club | 10/30 | 大学祭 ステージショー(手話コーラス) | 聖カタリナ大学 | — | |

文化局(同好会)

| 団体名 | 期 間 | 大会名・イベント名等 | 開催場所 | 参加人数 | 備 考 |
|-------------|----------|----------------------|------------|------|-----|
| 地球村 | 5/4 | 文化体験「鹿島まつり」 | 鹿島 | 14 | |
| | 10/9 | 文化体験「粘土細工体験」 | 今治市菊間 | 18 | |
| はっぴーデザイン研究会 | 10/20～27 | 世界食糧デー 展示 | 聖カタリナ大学 | — | |
| Mad Clowns | 10/30 | 大学祭 ステージショー(ジャグリング) | 聖カタリナ大学 | — | |
| 漫画研究部 | 10/29・30 | 大学祭 展示 | 聖カタリナ大学 | — | |
| 放送研究同好会 | 通年 | 構内ラジオ放送(カタリナchannel) | 聖カタリナ大学 学食 | — | |
| | 10/29・30 | 大学祭 運営補助(放送) | 聖カタリナ大学 | — | |

その他団体

| 団体名 | 期 間 | 大会名・イベント名等 | 開催場所 | 参加人数 | 備 考 |
|--------------|---------|------------|---------|------|-----|
| 学生ボランティアセンター | 7/11～16 | ボランティアウィーク | 聖カタリナ大学 | — | |

◆◆ 研究室探訪 ◆◆

聖カタリナ大学

人間健康福祉学部講師 田村 周一

『ここは退屈迎えに来て』(2012年・幻冬舎)という小説があります。著者は山内マリコさんで、私の好きな作家のひとりです。8つの短編で構成され、主人公は章ごとに異なりますが、みな現代の若者たちです。舞台は日本のどこか地方都市で、そこに暮らす若者たちの日常を中心に物語はすすんでいきます。

タイトルにもあるとおり、登場する若者たちにとって、日々を過ごす地方都市はいささか「退屈」な場所です。そこには、東京などの大都市のように、流行最先端のスポットはありません。世界的ファッションブランドのショップも、オシャレなカフェも、アートなミニシアターありません。あるのはツタヤとかゲオ、ブックオフ、ユニクロ、しまむら、マクドナルド、ファミレス、ドラッグストアで、いわゆる全国どこにでもあるロードサイドショップが連なる風景がひろがります。そして巨大ショッピングモールです。『下流社会』で有名な評論家・三浦展は、こうした無個性な景色、均質的な消費様式を「ファスト風土」と呼びました。

生活に必要なものはすべて揃っているのに、困ることはさほどありません。それでも若者たちは退屈を感じており、地元の地方都市での生活に閉塞感を抱いています。彼ら・彼女らは決して地元が嫌いなのわけではありません。愛着をもっているし、快適さも感じています。そうした充足した環境でも、どこか退屈で、誰かに「迎えに来て」と言いたくなるような気持ち。そうした機微がこの小説の主題であるように思います。

ところで私の専門は社会学です。アメリカ社会学理論、健康と医療の社会学、農山村調査を中心に研究をしてきました。ここしばらく大きなウェイトを占めているのが、地域医療にかんする社会的な調査研究です。医療というのは、もちろん医学・看護学が中心にあり、ほかにも医療制度、医療経済・財政、医療行政など、幅広い学問分野・研究領域が関係しています。私の専門は社会学ですから、医療というものが社会（人びとの生活）のなかでどのように必要とされ、また利用されているかがテーマとなります。とりわけ私が調査しているのは、人口減少、少子化・高齢化がすすむ農山村（中山間地）の地域医療です。とくに高齢化がすすむ農山村地域においては、十分な医療が提供され、それを必要とする人びとがアクセスできるかは、生活のなかでもきわめて重要な事柄です。

現在の地域医療における最も深刻な問題として、その第一は医療従事者の不足だと言われています。医師の場合、地方よりも施設設備の充実した病院の多い都市圏に集中する傾向があります。すべての医師がそうとは言えませんが、どこの地方病院でも、長年にわたって定着してくれる医師を見つけるのは至難のようです。医師というのは、きわめて移動性の高い職業なのです。また看護師については、以

前よりは改善されつつあるようですが、離職率の高さが問題になっています。とりわけ女性の場合、出産などでいったん現場を離れると、復帰しづらいケースが少なくないそうです。それだけ、つねに最新の知識・技能を学び続けなければならない高度専門職人であるのです。



調査地である兵庫県中山間地の公立病院(写真中央)

愛媛ではないのですが、地方の小さな看護専門学校の学生にインタビューをする機会がありました。彼ら・彼女らは、とても高い職業意識をもって、長く看護師として働きたいと述べ、また地域医療にも関心がありました。そして現代の多くの若者と同じく、現実志向でもありました。話を聞いた学生の多くは、地元が好きで、ずっと暮らしてもいいと思っており、そして看護師資格には地方で働く上で大きなメリットがあると考えているようでした。

上でも言いましたが、看護師はきわめて高度な専門職です。医師と同じように、全国どこでも仕事をする事ができます。地方で暮らしていきいたいと思い、そこで仕事を得るにはどうしたらいいかを考えて、看護師を志した若者も、晴れて看護師になったら、日本全国から引合いのある人材となるのです。医療に限らず、若手人材にいかにつけて定着してもらい、活躍してもらおうかが地域社会にとって今後の大きな課題になると思います。どうすればよいのでしょうか。若者が好むような、都会的なブランドショップやカフェが地方にもあればいいのでしょうか。おそらくそうではないのだと思います。

大切なのは、若者が地域を担う人材として活躍しつづけられることであり、それを支援する周囲の助けであり、彼ら・彼女らを中心に置くような地方社会のあり方であるような気がします。若者が退屈することがあるのだとすれば、その理由は、もしかしたら、こうした点での物足りなさにあるのかもしれない。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地
TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>
編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp